

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型事業所こてる018(放課後等デイサービス)				公表日	8年 2月 9日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		利用人数に応じて屋外活動（農園）での活動、又は個別の活動を行うように工夫しています。		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7				
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	部分的に残し、リハビリや、運動に活かすように工夫している。家庭の環境を想定し、あえて段差を設定する工夫もあります。	リフト車両の導入やバギーの使用方法の指導助言を行っている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		感染対策も含め清潔感のある環境作りを心掛けています。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		相談室等個別に対応したり出来るスペースを確保しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		毎月の職員会議を中心に個別のケア会議や活動会議を行っている。突発的な事項については随時検討会議を行うようにしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	アンケートとは別にモニタリングや、送迎時の会話などで頂いた意見は職員周知を図り、改善に繋げるようにしています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6		現在第三者評価は行っていないが、今後は貴重なご意見をいただける機会なので検討していく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		年間計画に沿って定期的に研修開催を予定しています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		ホームページを活用して公表することが出来ています。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			ニーズ調査を定期的に行い保護者のニーズと、課題、そして計画にすれがないように細かく修正していくたいと思います。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		個別支援計画を周知し児童に関わるようになります。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		個別支援計画を周知し児童に関わるようになります。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		事業所全体で行っている。立案→プラン作成→実施→評価の手順で行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		活動プログラム会議を毎月実施し意見を出し合い進めています。毎月新しい取り組みにチャレンジする事で児童も職員も心が動くよう工夫しています。		

供 應	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝礼時に実施。 また、状況に応じて適宜実施しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	勤務形態の関係で夕礼が不十分な場合は翌朝の朝礼内で周知するようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	3	業務日誌 ケース記録 特記事項にて行っています。	特記事項への記入が不十分な部分があるため、細かなことの記入を積極的に行うように周知・実施予定です。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		個々の能力が発揮しやすい活動やイベントを通じて自己選択出来る環境を整えています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		学校に訪問し、児童の支援についての意見交換や、情報共有、場合によっては支援の統一化を提案しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2		就学前の連携については不十分な部分があるため今後連携が出来る形を整えます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2		今年度対象児童がいるため関係機関にしっかりと情報共有します。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	地域内にある対象施設との連携を取させていただいている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	1	6		現在児童同士の交流は実施出来ていないが必要に応じて今後行っていく予定です。 児童クラブ等との連携は行っている。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5		可能な限り参加するように心がけているが実績が少ないため今後頻度を増やしていきます。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時に活動のご様子はしっかりとお伝えしています。	現在SNSでの参加は希望者のみなので、参加していない保護者へもSNS以外で情報を発信できたらと考えています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援ブログ（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	定期的な家族支援会議の実施によりご対応させていただいている。	
機 構 の 運 営	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	定期的な家族支援会議の実施によりご対応させていただいている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	6		父母の会までは、現在行っていないが一周年記念イベントの際に保護者同士で交流する機会があり、今後も続けるよう考えています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		SNS及び電話転送等により迅速に対応できるように準備しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月の予定表、定期発行の新聞および活動報告を行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		研修なども通して行っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		活動内容をお伝えする場合も、どんな伝達方法が適切かを検討してから行うようにしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		イベントによっては地域の方を講師に招いたりという活動も行っている。今後も継続していきたいと考えています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		職員周知の為の研修及び訓練の実施。また訓練時にご家族様にも参加出来る工夫を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		業務継続計画に沿って実施しています。	連携協定が隣接施設のみとなっている。今後自治会との連携協定も検討していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	初回アセスメント時に確認を行っているが現在対象の児童はない状況です。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画に沿って行っています。	今年度、安全計画の見直しを行っています。内容の改善を委員会内で取り決め進めています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		十分に周知出来ていない状況があるため、ホームページ等を使用してご家族様を対象に周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		事例集を職員がいつでも確認し合えるようファイリングし、情報を公開し、共通認識できるようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		年間計画に沿って定期的に研修開催を予定しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		事前の同意書、実施の内容、期間を設定して行っています。計画書内にも記載しています。	